



宇宙茶会 ～宇宙科学と茶道のコラボ？～



<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/uss/>

<http://www.ava-cha.com/>

「宇宙と〇〇」の宇宙ユニット

京都大学宇宙総合学研究ユニット(宇宙ユニット)は、宇宙に関する様々な研究者が集まり、既存の分野を超え、人文社会系学問まで含む新しい宇宙研究の開拓を目指して2008年に発足した組織です。

今まで宇宙に関心がなかった方々にも、広く宇宙の面白さを知って頂くため、そして異分野との接点から生まれる新しい学問、新しい文化の創造と発信をめざして、宇宙とアート、宇宙とお寺、宇宙落語、宇宙能、宇宙香、などの様々なプロジェクト、イベントを行ってきました。

「〇〇茶会」のアバンギャルド茶会

千利休が500年前にも、戦国時代という時代背景に則そうとして、誰も考えられなかったアバンギャルドな茶の湯を作り出したはず！

東京在住の茶人・近藤俊太郎が、これまで茶道に興味はあったけど、どうやってはじめて良いのかわからない？という人も気軽に参加できる場として、茶道・日本文化にとどまらず、文化との体験接点の場をプロデュースする活動として、異分野とのコラボレーション茶会など様々な活動を行っているのが「アバンギャルド茶会」です。



宇宙茶会とは

定義はありませんが、宇宙科学者による宇宙のお話など、宇宙とコラボしたお茶会です。第一回は2010年秋に京都大学花山天文台で開催、科学者による宇宙の話の聞きながらお茶を頂いた後、45cm屈折望遠鏡で木星を観望しました。

宇宙茶会のなれそめ

宇宙ユニットで様々なイベントを仕掛けている専任教員の磯部洋明と、アバンギャルド茶会の近藤俊太郎が、twitterを介して知り合い、東京都内某所のスターバックスで初めて顔を合わせ、5分後には「宇宙茶会やろう」と決まっていました。

宇宙茶会



第1回宇宙茶会の様子

「月」のお茶碗



月と「天の川にみたてたお菓子」



45cm屈折望遠鏡



iPhoneで撮った木星と衛星



どんどん広がる宇宙茶会



宇宙×茶道具プロジェクト 宇宙十職

宇宙茶会の話聞いたある研究者の「せっかくやるならお茶碗も『宇宙』ならもっと楽しそう」の一言をきっかけに、アバンギャルド茶会が若手作家に呼びかけて「宇宙」をモチーフにしたお茶碗や茶道具たちが次々に誕生。これらを使った「宇宙茶会」がこれまで東京や京都で何度か開催されています。

太陽茶碗 渡邊陽子



天王星茶碗 叶具夫



宇宙棗 菱田賢治



火星茶碗 潮桂子



海王星茶碗 金理有



火星茶杓 大江憲一



「文化」人主導の科学イベント？

宇宙茶会、宇宙十職プロジェクトの特徴は、科学コミュニケーションイベントという側面を持ちながらも、科学者の側が企画・主導するのではなく、茶人、陶芸作家といった人たちが自ら「宇宙科学」を取り込み、主体的・継続的な活動を続けている点です。科学、学術の世界と、社会をつなぐ一つのあり方を示しているのではないのでしょうか。